



# ALBA 新聞 ~希望の夜明け~

No.22 2022/03

少しづつ暖かくなり春らしさが感じられるようになりましたが、皆様いかがお過ごしですか？  
最近は体験者も多いので、コミュニケーション能力を鍛えるいい練習になるかもしれませんね。



## 3月の記念日

### ひな祭り

ひな祭りは女の子の幸せや成長を願い3月3日に行われるお祝いで、中国の上巳節（じょうしせつ）を期限とし、人間の代わりに人形に厄災を払ってもらい、川に流す「流しひな」や、平安時代に宮中の女の子が遊んでいた人形「ひいな」などが由来となっています。

### 春分の日

春分の日は、法律によって決められている日本国民の祝日の一つです。  
自然や生き物を大事にする日やお彼岸の中日としてお墓参りをする日と言われています。

ひな祭りの由来は、中国から伝わった五節句（人日の節句・上巳の節句・端午の節句・七夕の節句・重陽の節句）という行事のひとつ「上巳」。

季節の節目を意味する「節」の頃は邪気が入りやすいとされており、中国では川で身を清める習慣があるのに対し、日本では紙などで作った人形で自分の体を撫でて穢れを移し川に流して邪気払いをしていました。この風習が現在にも残るひな祭りの行事「流し雛」のルーツと言われています。

### ホワイトデー

ホワイトデーとは、バレンタインデーのアンサーデイ【返答となる日】です。  
バレンタインデーでチョコレートを貰った男性がお返しの意を込め、3月14日のホワイトデーはキャンディーを贈る日として飴菓子業界の全国組織である全国飴菓子工業協同組合が1978年（昭和53年）の名古屋での総会で飴菓子業界の総意として決議採択されて全飴協ホワイトデー委員会が組織されました。そして2年間の準備期間を経て1980年（昭和55年）3月14日に第1回ホワイトデーが始まったと言うのが由来になるそうです。（諸説あります）

「上巳」が広まる頃、平安時代の貴族の子供の間で「雛あそび」という人形遊びが流行していました。この人形遊びと「上巳」が結びつき今の雛祭りの原型になりました。

時代と共に立派な人形が作られるようになり、川に流される物から飾られる物に変わってきました。そして江戸時代で女の子のお祭りとして定着することになったのです。（N・K）

### 漫画週刊誌の日

1959年3月16日に、日本で初めてとなる少年週刊誌の「週刊少年サンデー」と「週刊少年マガジン」が創刊されました。そのため同日を漫画週刊誌の日としています（T・T）

## 4月14日 オレンジデー



オレンジデーというのは、バレンタインデーとホワイトデーで結ばれた2人が愛を深める日と言われています。

日本のオレンジデーは4月14日、これは2月14日のバレンタインデーに愛の告白をし、3月14日のホワイトデーにその愛に応えた二人が続く4月14日にさらに愛を深め合うとされています。

オレンジの花言葉は「花嫁の喜び」で、なぜ「オレンジ」という名前がついているかというと、オレンジの花言葉が「花嫁の喜び」であることから由来しています。また、オレンジはひとつの木が花と実を同時に持ることから、ヨーロッパでは愛と豊穣のシンボルとなっていることも理由のひとつです。

日本のオレンジデーでは、恋人同士がオレンジそのものや、オレンジ色のものを贈りあうとされています。贈り物を選びあって楽しんで、一緒にオレンジにちなんだ飲み物やスイーツを味わったりするのも良いかもしれませんね。(U・K)

## アルバに来て感じたこと

私は去年の四月に大学を卒業して、介護の仕事に就いたのですが、職場の人間関係が上手くいかず10月の後半にやめてしまいました。人間関係により鬱と適応障害になってしまったからです。その中で心療内科の先生に若者支援センターをすすめられて、そこで数回話したときに就労移行支援の話になり、何個勧められたのですが、あまり分からなながらもアルバへ体験に行く事にしました。

自宅に帰ってからも、「どんな感じなんだろう」「緊張する」「気分が乗らないな」と思っていたのですが、いざ見学に来てみると雰囲気がとても良く学校や塾みたいな感じで落ち着くなと思いその日に見学の日を決めてワクワクして帰りました。そして体験当日になりアルバにきて授業を受けてみるとコミュニケーションをとる内容だったので、後ろの人と話しながら受けました。そして授業が終わってからも職員さんが親切に話しかけてくださって、とても温かい所なんだなと思いました。

分からなことがあるれば分かるまで教えてくださるので、アルバは優しさと就職をした後でも困らないように訓練をさせてください、また面接の練習などのサポートもさせて頂ける場所だと思いました。(T・Y)

それぞれのSNSでプログラムの様子を見ることが出来ます。

是非チェックしてみてください。4月号もお楽しみに！

